

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 17 日

事業所名 放課後等デイサービス 第二ピュアこだま

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		営業時間に合わせた職員配置に気をつけています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段を上り下りする際は、手すりに誘導するようにしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		ケース会議を行い、個別の支援目標など、職員全員に周知するようにしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			職員全体での情報共有や話し合いの機会をもっと作っていきたくと考えています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			3月17日にホームページにて、自己評価の結果を公開しました。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者委員の方が月に一度法人へ来園していますが、当事業所は対象となっていないようです。今後、管理者と相談し、外部評価を受ける機会を作らなければならないと考
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			可能な範囲で参加しています。できるだけ、研修会に参加できるようにしていきたいです。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童支援管理責任者と担当職員が保護者様とアセスメントを行っています。	支援計画の作成時に、ケース会議を行い、職員全員でモニタリングや支援の目標とすることを話し
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		天候や、子どもたちの様子に配慮しながら、その日の勝度を設定しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		室内外で身体を動かす活動を設定するようにしています。	ルームランナーやフィットネスバイクなど、室内でも運動が出来るように機器を準備し、体を動かす機会を作っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		体を動かす活動を多く取り入れるようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		集団で活動、個別での活動にメリハリをつけるように工夫しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		天候や、子どもたちの様子に配慮しながら、活動を組み合わせるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			職員が送迎に出ているため、振り返りが難しい状況があります。気になったこと等ある場合、後日、振り返るようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		職員全員が記録できるようにしています特記事項の欄を設け、気が付いたこと等記入するようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			今後も、ガイドラインの総則の周知をしていきたいです。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者様に許可をいただいた上で、学校との情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアが必要な利用者さんの受け入れが難しい状況です。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		当事業所を見学をいつでも受け入れています。	保育園等訪問することが難しい状況でした。見学の受け入れなどが可能になりましたら、訪問等させていただき、情報共有に努めていきたいです。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		相談支援専門員の方を介して情報提供・共有しています。調整会議などが行われる際は、参加していきます。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		公共の施設の利用を積極的にするようにしています。	事業所以外の子どもたちとの交流の機会を作ることが難しい状況でした。保護者様や管理者に相談する必要があります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			管理者が参加するようにしています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳を準備していただき、活動の様子をお知らせしています。様子の変化等ある際は、お電話で伝えることもあります。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者様からの相談をお受けしたときは、話し合いの場を設けています。	保護者様を対象とした支援については、研修に参加するなど、勉強が必要だと考えます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			不明なこと等、いつでもお問合せいただくように伝えています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談を受け場合や状況によっては、面談をすることもあります。相談支援員の方に状況を報告し情報共有するようにしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			父母の会、保護者会の開催はありませんでした。今後、要望等あった際は、管理者や保護者様と相談していく必要があります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月、第二ビュアこども新聞を発行しています。	今後はホームページの更新も行い、様子をお知らせしていきたいと考えています。
	35	個人情報に十分注意している	○			契約時やアセスメント時に個人情報について保護者さまと確認し、承諾書をいただいています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			管理者が地域の自治体に参加しています。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				職員・保護者様への周知をもっと十分にしていきたいと考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月実施しています。防災頭巾のかぶり方等も練習しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			法人で虐待防止委員会を設置しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			個別の対応が必要な場合、保護者に状況を伝え、了承をいただき、記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		保護者様にアレルギーの有無の確認をしています。	現在、食物アレルギーを持っている方の利用はありません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				